

《專門課題研修》

③⑧ 税務初任者 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 地方税の賦課徴収実務に必要な基本的な知識
(地方税法総則及び個別税目の通則関係の知識)

**日 時：令和8年6月22日（月）9：20～16：30
～23日（火）9：30～16：30**

会 場：web

対象者：税務を担当して1年目の職員（定員 60名）

※2年目以降の職員も受講可能です。

◆申込締切日 令和8年5月22日（金）

〈研修内容〉

1日目

- 1 市町村税のあらまし
- 2 地方税法と条例の関係
- 3 徴税吏員の職務権限
- 4 納税義務の成立と確定及び納期限（課税事務のあらましを含む）
- 5 賦課権と徴収権
- 6 分納、猶予制度、滞納処分等（徴収事務のあらましを含む）
- 7 還付等
- 8 書類の送達

2日目

- 9 守秘義務
- 10 不服申立て等
- 11 相続による納税義務の承継（固定資産税の死亡者課税問題を含む）
- 12 共有不動産に係る固定資産税の連帯納税義務



講師 齋藤 博史氏より一言

地方税の賦課徴収業務を担当するに当たっては、地方税法の通則的な規定（地方税法総則と個別税目の通則的規定）を理解することが必要不可欠です。そして、この分野は民法や行政法と関わる事項が数多くあります。いうまでもなく民法や行政法は地方公務員として身に付けておくべき基本的な法律です。本研修が、地方税賦課徴収の実務とともに、これら基本法を学ぶ絶好の機会として活用されることを強く期待します。

③9 入札契約事務制度 研修

関連する研修
⑭財務事務研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 透明・公正な契約過程確保の確認
- ◆ 契約関連法や根拠法の知識と契約に関する諸問題への適正な対応方法

日 時：令和8年4月24日（金）9：20～16：30

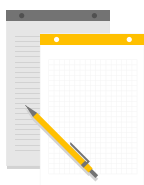
会 場：web

対象者：入札・契約を担当する職員（定員 80名）

◆申込締切日 令和8年4月10日（金）

〈研修内容〉

- 1 地方財務会計制度
- 2 地方公共団体の活動と契約
- 3 地方公共団体の契約と財務
- 4 契約締結の意義
- 5 契約に関する基本ルール
- 6 地方公共団体による契約締結方法
- 7 一般競争入札による契約締結
- 8 指名競争入札による契約締結
- 9 随意契約による契約締結
- 10 各種の契約
- 11 契約の効力が発生するまでの過程
- 12 契約の履行過程における問題
- 13 契約締結にあたっての留意点
- 14 契約終了段階の事務
- 15 契約の変更に関する実務
- 16 請負契約の実務
- 17 業務委託契約の実務
- 18 リース契約について
- 19 契約書の点検作業
- 20 契約に関する紛争（裁判例紹介）



講師 伊藤 義文氏より一言

地方公共団体において、契約は、一般民事法上の規律のみならず、地方公共団体特有の法的、財政的規律があります。これらを理解し、適切な契約事務を進めて頂けるようになればと考えております。

④⑩ CAD 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 建設系汎用 CAD (V-nas ビーナス) の操作
- ◆ CAD を用いた製図に必要な知識の習得
- ◆ 作図と編集の基本操作や知っておくと便利な機能の習得
- ◆ CAD のファイル形式の種類とその特徴についての知識の習得
- ◆ 3次元 CAD のデータの閲覧方法の操作体験

日 時：令和8年6月3日（水）9：20～16：30

会 場：WEB

対象者：土木建設を担当する職員（定員 30名）

◆申込締切日 令和8年4月30日（木）

〈研修内容〉

1. 操作の基礎知識
2. 図面データの取り扱い
3. 構造物の作図演習
4. その他の操作（測量座標系、工区割コマンドなど）



講師 上田 太一氏より一言

九州地区の官公庁、佐賀県内の官公庁（県庁・市町）で多く採用頂いている建設系汎用 CAD 「V-nas」について、基本操作を習得してもらえるように解説させていただきます。

疑問点があれば、研修時に解決していただけるように、ご説明したいと思っておりますので、何かわかりにくい箇所があれば、ご遠慮なく質問頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

④1 採用面接 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 採用の本来の目的や組織における役割を俯瞰的に捉え直し、単なる手法論に留まらない本質的な「考え方」の軸の構築
- ◆ ペルソナ設計からチャネル選定に至るまでの戦略的なプロセスを紐解き、大きな概念を具体的なアクションへと落とし込む論理の習得
- ◆ 全体像の把握からリアルな実務での活用まで、一貫した思考法を習得することで、採用活動の質を根本から高める

日 時：令和8年8月4日（火）9：20～16：30

会 場：佐賀県市町会館「市町職員研修センター」3階 大会議室

対象者：職員採用担当職員（定員 30名）

◆申込締切日 令和8年7月3日（金）

〈研修内容〉

- 1 【現実の確認】なぜ採用は難しくなったのか
- 2 【自己分析】私たちの採用の現状
- 3 【戦略立案】応募者を増やすには？
- 4 【スキルアップ】効果的な選考とは？
- 5 【クロージング】選ばれる組織になるために



講師 桑原 孝典氏より一言

この研修は、佐賀県内の自治体職員を対象とした採用力向上研修の全体像をまとめたものです。労働人口の減少や売り手市場の加速といった昨今の厳しい採用環境を分析し、学生や転職希望者の価値観がどのように変化しているかを詳しく解説します。参加者が自組織の現状を客観的に把握できるよう、採用の各段階における歩留まりの可視化や、世代間の意識差を埋めるためのワークショップも組み込まれています。最終的には、応募者の獲得から内定辞退の防止に至るまで、戦略的な選考スキルと組織としての対応力を高めることを目指しています。

④2 佐賀の食と農の流通・ブランディング 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 農水産食品の最近のトレンド情勢・変わりゆく流通への対応
- ◆ 農水産食品の地場特産品のブランド力向上の基礎知識・ノウハウ
- ◆ 地域産品の売込 PR や販路拡大へのヒント～実例を踏まえて
- ◆ 地域の強みを生かした生産者や事業者の支援の在り方
- ◆ 行政としてのサポート手法、施策への活かし方、施策例の解説 など

日 時：①令和8年6月1日（月）14：00～16：30

②令和8年7月2日（木）14：00～16：30

③1泊2日東京視察：7月～8月

④10月頃

会 場：第1回、2回、4回 佐賀県市町会館2階 小会議室

第3回 東京の流通視察プログラム

対象者：関係部署及び意欲のある職員（定員20名）

◆申込締切日 令和8年5月1日（金）

〈研修内容〉

- 行政として、農水産・食品のブランディング・国内流通について、サポート施策を策定・実施するために必要な基礎知識を網羅的に習得。

第1回：農林水産・食品の流通基礎講座～飲食・小売店に行くのが楽しくなる！

第2回：食の流通ブランディング基礎講座～日頃の食の世界が面白くなる！

第3回：講師による東京都心部における食の流通最先端を巡回視察。

（視察先例：最高級な百貨店食品・著名果物店・イタリアブランド食品・オーガニック青果物店・複数の自治体アンテナショップ等、佐賀では体感できない食の世界。著名イタリアレストラン総料理長による地域食材の活かし方体験講座等。）※第3回のみ参加はできません。

第4回：担当業務に活かす・地元地域にどのように活かすか

視察の振り返り、行政としてのサポート手法、施策への活かし方、施策例の解説など。行政として佐賀でどのように活かしていくのか。



講師 江口 慎一氏より一言

農水産品・食品の最近のトレンド情勢、産品の付加価値化・差別化（ブランディング）、支援対象である生産事業者の現場ニーズの多様化・高度化などを学びつつ、参考となる自治体等の取り組み、具体的な事例研究、流通ブランディングの実務現場の話などを通じて、近年大きく変遷する農水産・食品流通の荒波の中、今ある地元の経営資源でどのように取り組むのか、行政として必要なサポート手法等についての理解、見識を深めていただきます。

本講座では、第1回・第2回で必要な基礎知識を習得した上で、第3回では実際に流通の最新現場の現地視察（講師による逐次解説付き）、第4回では実際に地元でどのように施策として活かすかを学ぶ構成となっています。

身近な食の世界は、日頃の気付きだったり、見方を知るだけで本当に面白い、地元でやりがいのある仕事ですし、決して難しいものではありません。

地元の事を一番近くでご存じであるからこそ、市町ならではの、市町にしかできない地域活性化、顔の見える地場産業支援があります。まさに自治体職員としての醍醐味であり、参加者の皆様が現場や生産事業者さんを通じた目に見えるやりがい、うまくいった時の喜びを得られるような研修にしたいと思います。